

上下水道事業の現状と課題について

令和5年7月5日

令和5年度 第1回富士見町上下水道審議会資料

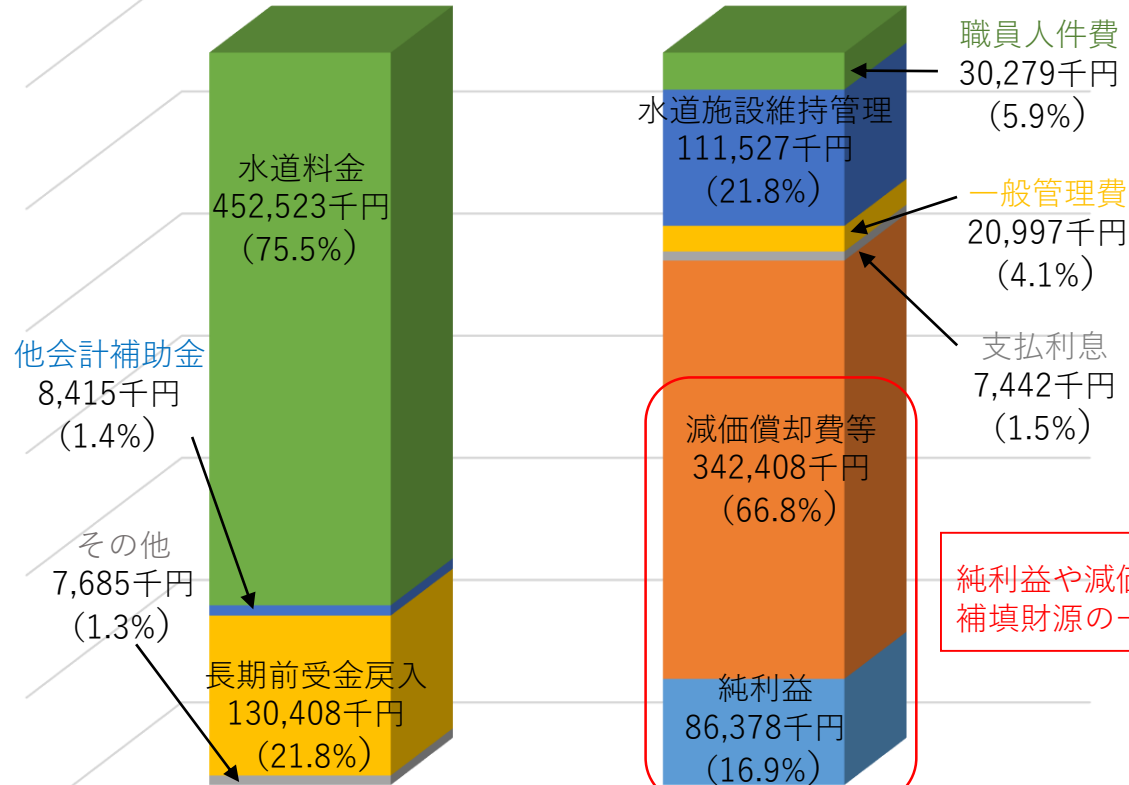
目次

- | | | |
|---|-----------------|-----|
| 1 | 現在の経営状況と課題について | P3 |
| 2 | 料金・使用料の見直しの経過 | P14 |
| 3 | 改定へ向けた手順と方法について | P16 |
| 4 | 現在の料金・使用料体系について | P20 |
| 5 | まとめ | P23 |

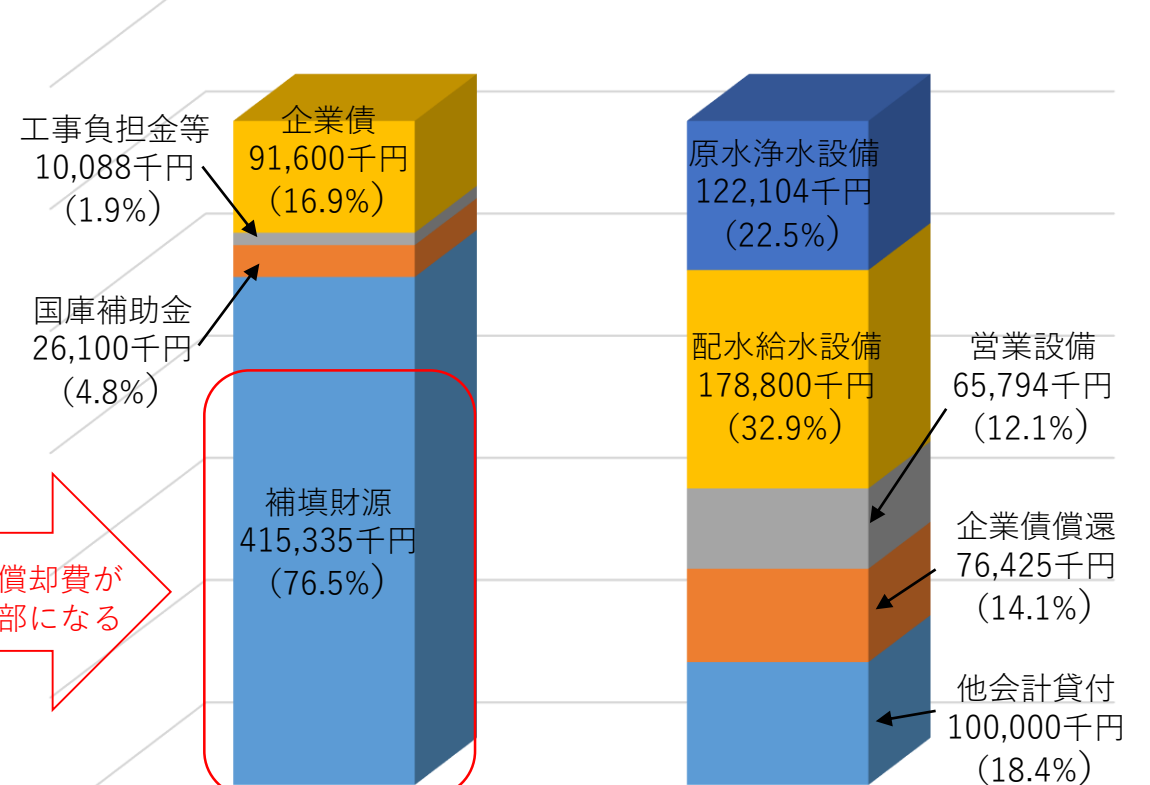
1.現在の経営状況と課題

①令和4年度決算速報 ～水道～

収益的収支：維持管理的な収支の状況



資本的収支：投資的な収支の状況



純利益や減価償却費が補填財源の一部になる

収入合計 599,031千円

支出合計 512,653千円

収入合計 127,788千円

支出合計 543,123千円

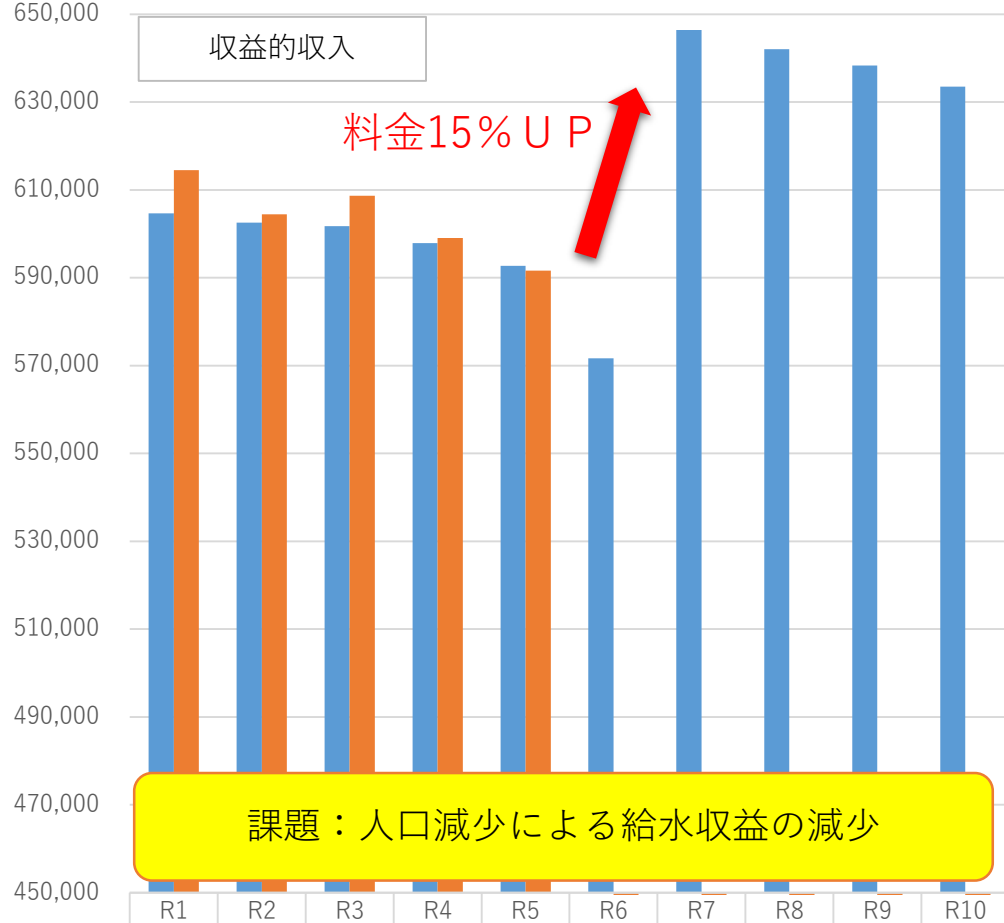
②有収水量・給水人口・給水収益の推移 ～水道～



給水人口(人)	14,244	14,112	14,070	13,989	13,911	13,765	13,606	13,447	13,285	13,122	12,959	12,796	12,633	12,468	12,303
有収水量(m)	3,005,981	2,945,273	2,896,821	2,900,415	2,865,899	2,806,482	2,774,064	2,741,646	2,708,617	2,675,384	2,642,150	2,608,917	2,575,684	2,542,043	2,508,402
給水収益(千円)	472,053	465,115	456,480	458,578	452,523	451,120	445,911	440,702	435,365	430,027	424,690	419,352	414,015	408,600	403,185

③投資財政計画と決算(1) ～水道～

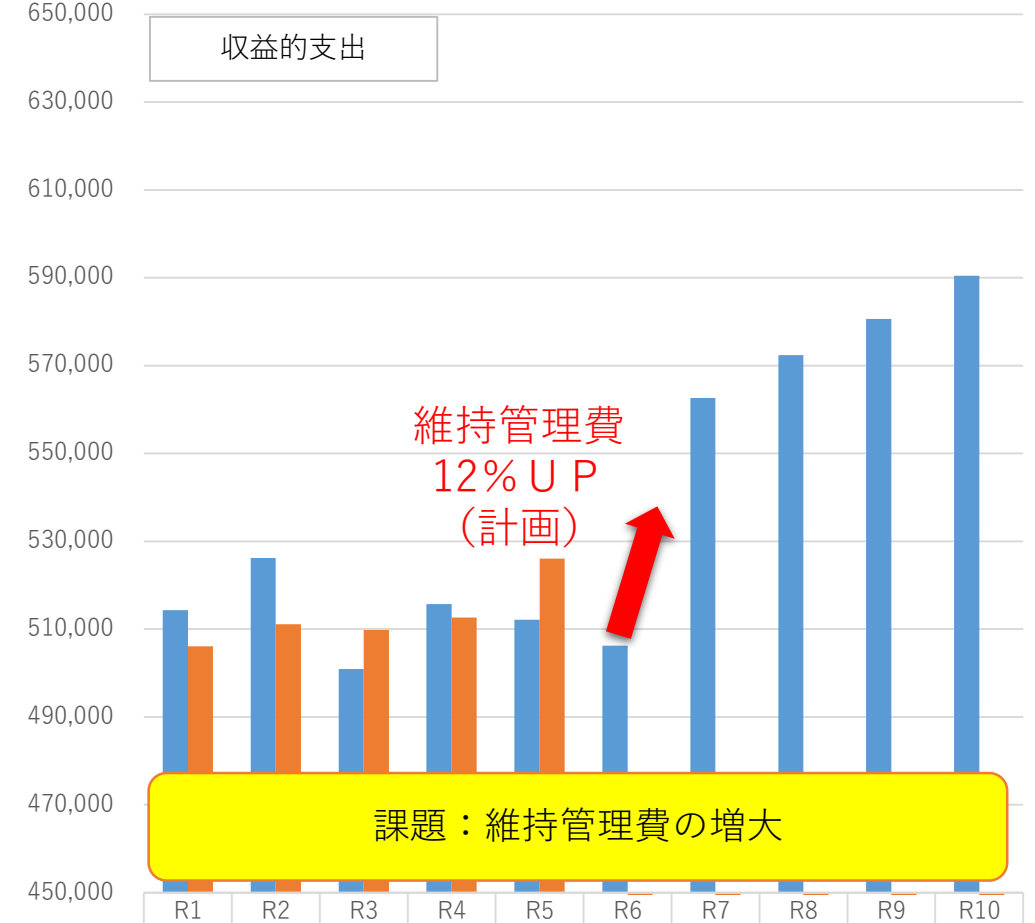
(単位：千円)



■ 投資財政計画	604,648	602,549	601,745	597,914	592,686	571,701	646,379	642,027	638,310	633,539
■ 実績(決算)	614,482	604,453	608,652	599,031	591,625					

料金改定率はエネルギー価格の高騰等を含めた再検討が必要

(単位：千円)



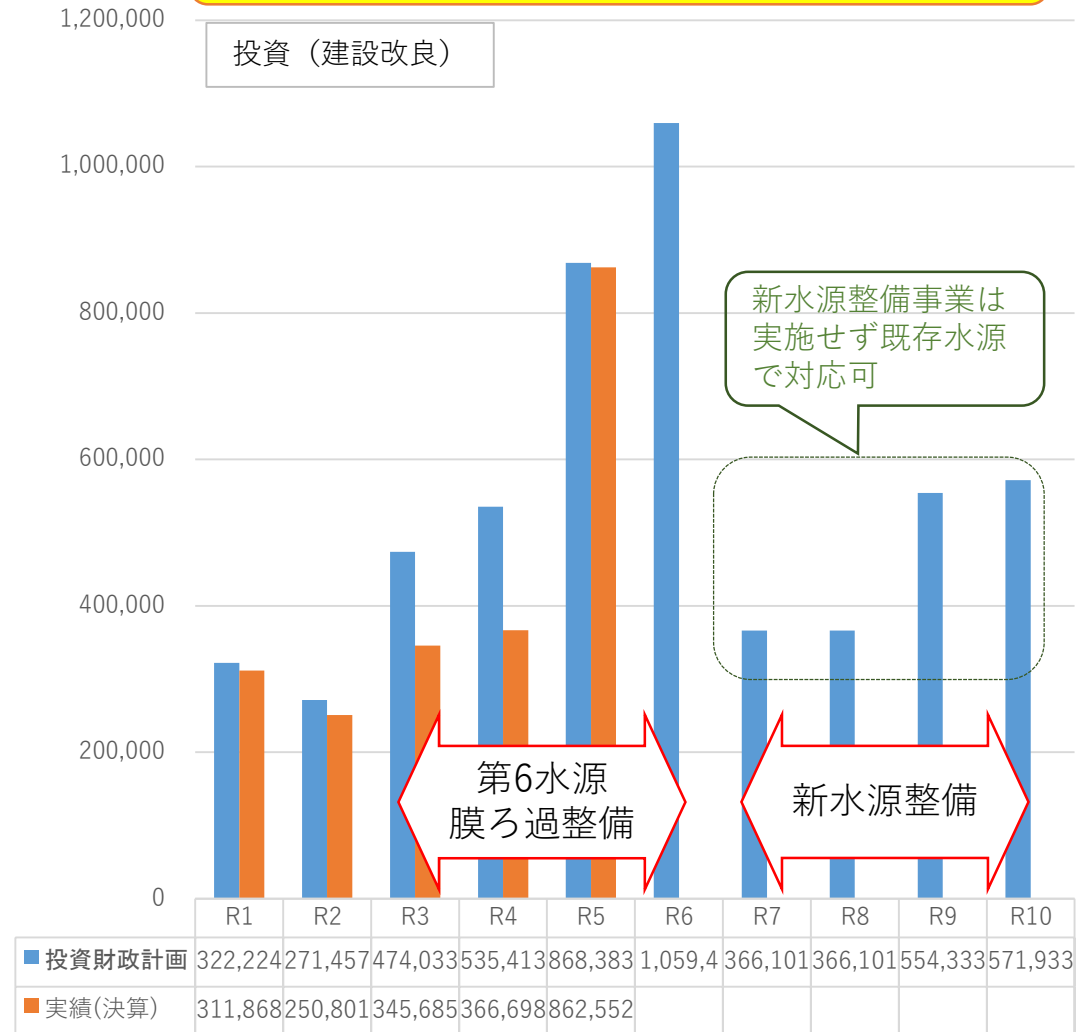
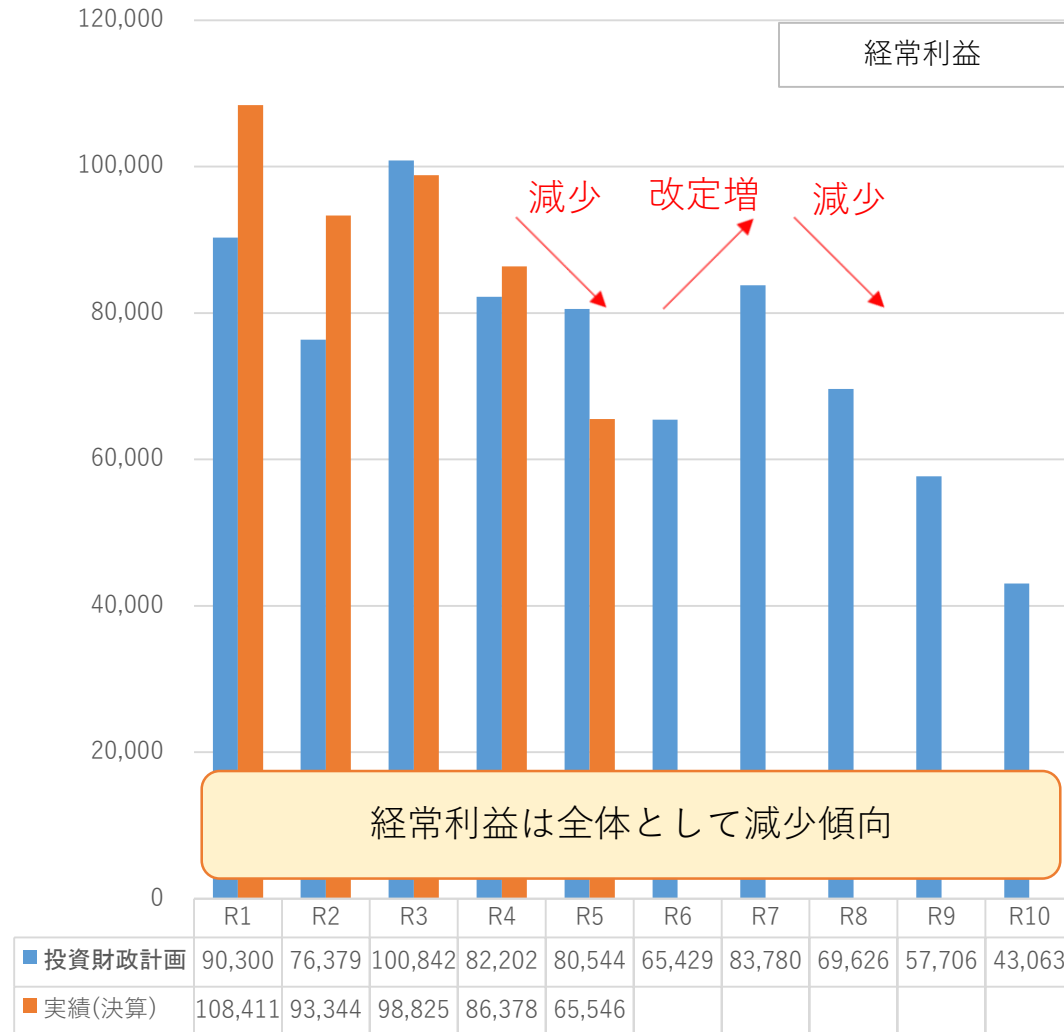
■ 投資財政計画	514,348	526,170	500,903	515,712	512,142	506,272	562,599	572,401	580,604	590,476
■ 実績(決算)	506,071	511,109	509,827	512,653	526,079					

③投資財政計画と決算(2) ～水道～

(単位：千円)

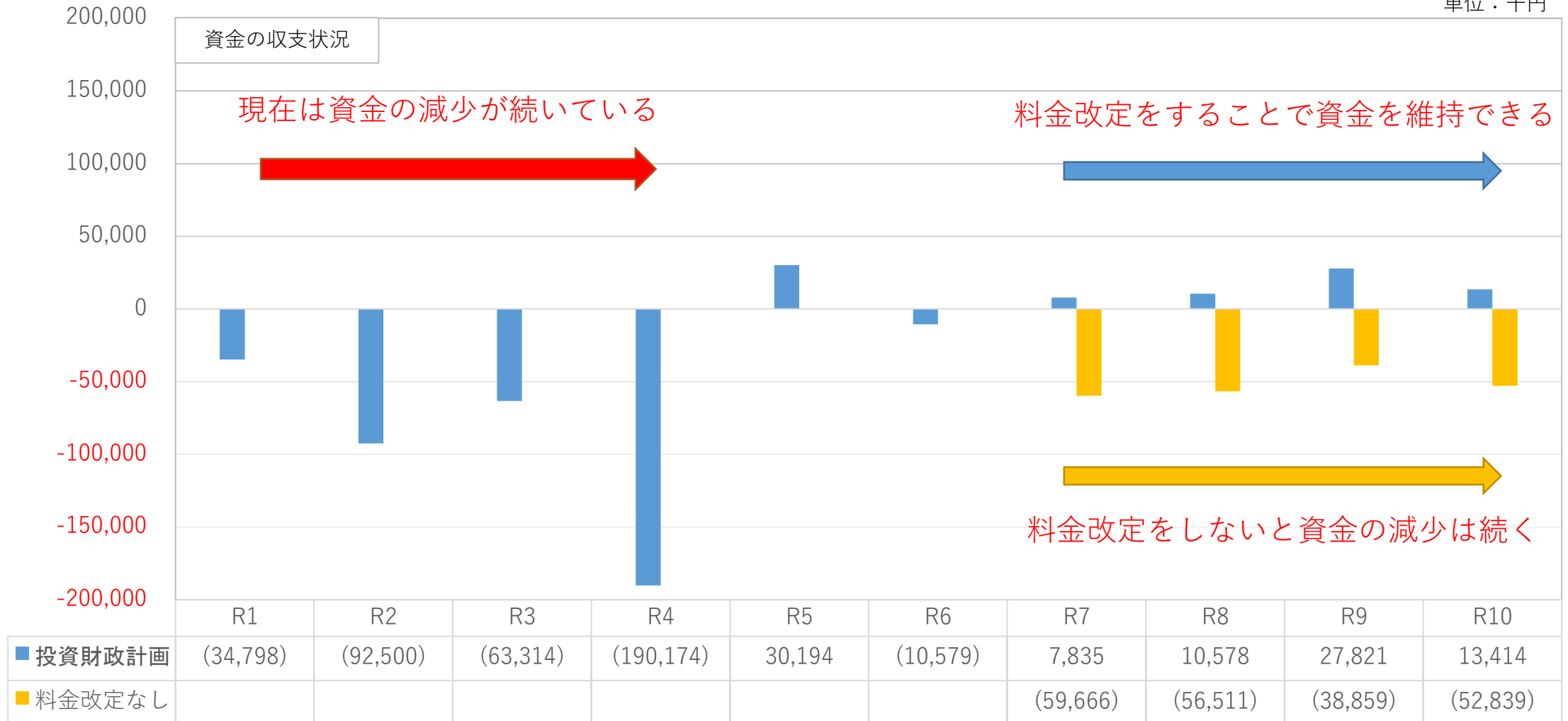
(単位：千円)

課題：更新需要に必要な資金の確保



③投資財政計画と決算(3) ～水道～

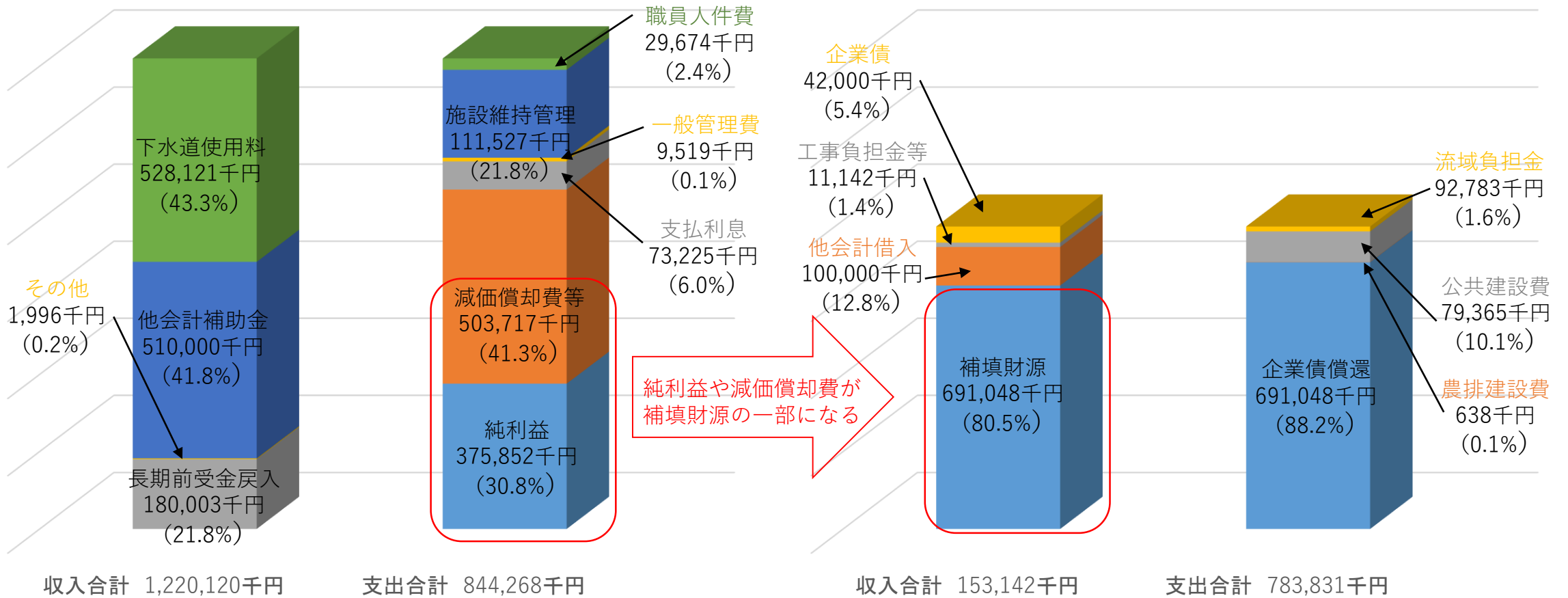
単位：千円



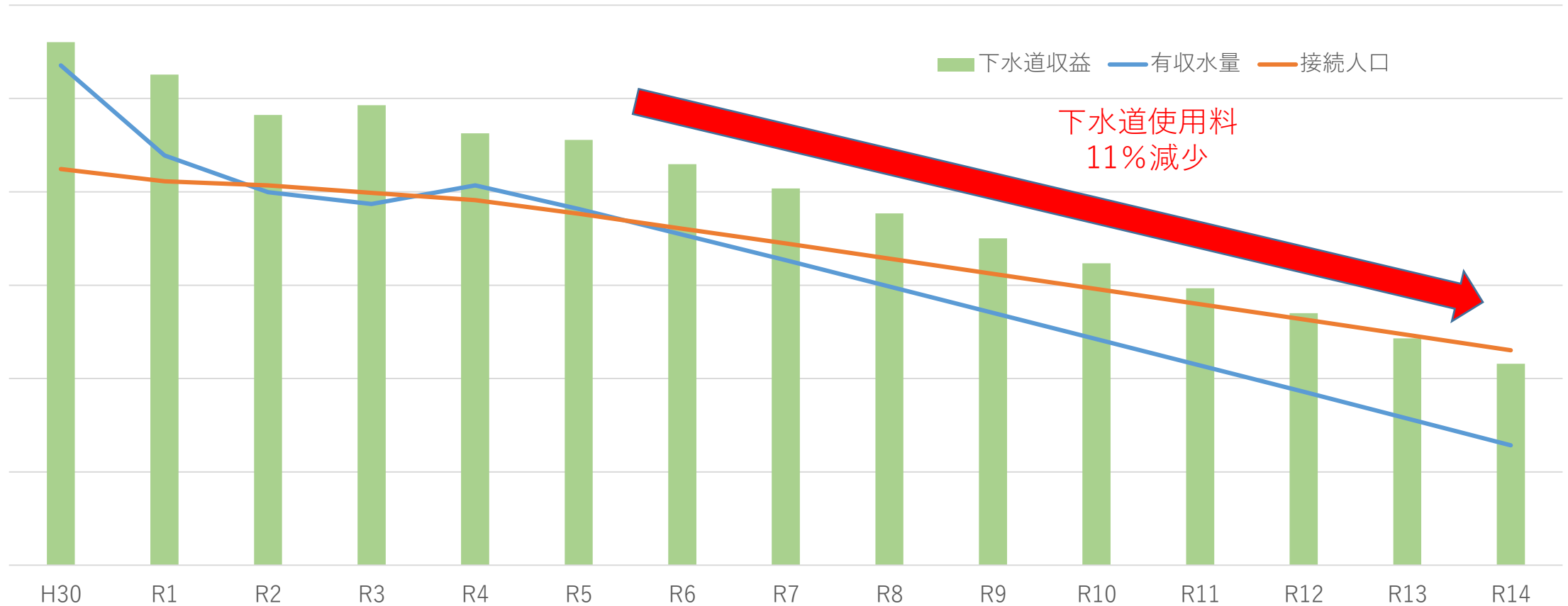
①令和4年度決算速報 ～下水道～

収益的収支 : 維持管理的な収支の状況

資本的収支 : 投資的な収支の状況



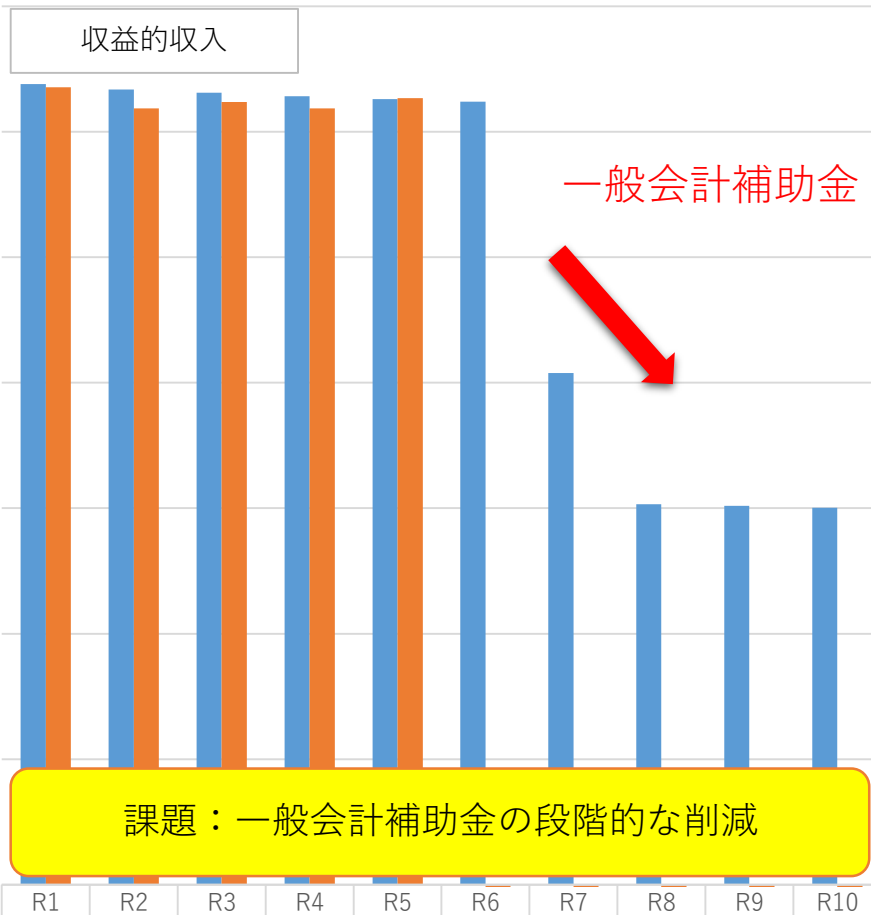
②有収水量・接続人口・下水道使用料の推移 ～下水道～



接続人口(人)	12,194	12,039	12,025	11,995	11,940	11,782	11,646	11,510	11,370	11,231	11,092	10,952	10,813	10,671	10,530
有収水量(m ³)	2,535,360	2,439,087	2,399,692	2,386,990	2,406,984	2,000,048	1,976,961	1,953,875	1,930,109	1,906,513	1,882,917	1,859,152	1,835,556	1,811,451	1,787,515
下水道収益(千円)	555,338	535,248	524,958	522,781	528,120	521,903	515,876	509,850	503,675	497,500	491,325	485,150	478,975	472,710	466,446

③投資財政計画と決算(1) ～下水道～

(単位：千円)
1,300,000



■ 投資財政計画	1,238,0	1,233,6	1,231,1	1,228,3	1,226,1	1,223,8	1,007,7	903,084	901,828	900,415
■ 実績(決算)	1,235,4	1,218,6	1,223,7	1,218,6	1,226,6					

一般会計補助金はストックマネジメントによる更新需要の見通しを踏まえ検討

(単位：千円)
1,300,000

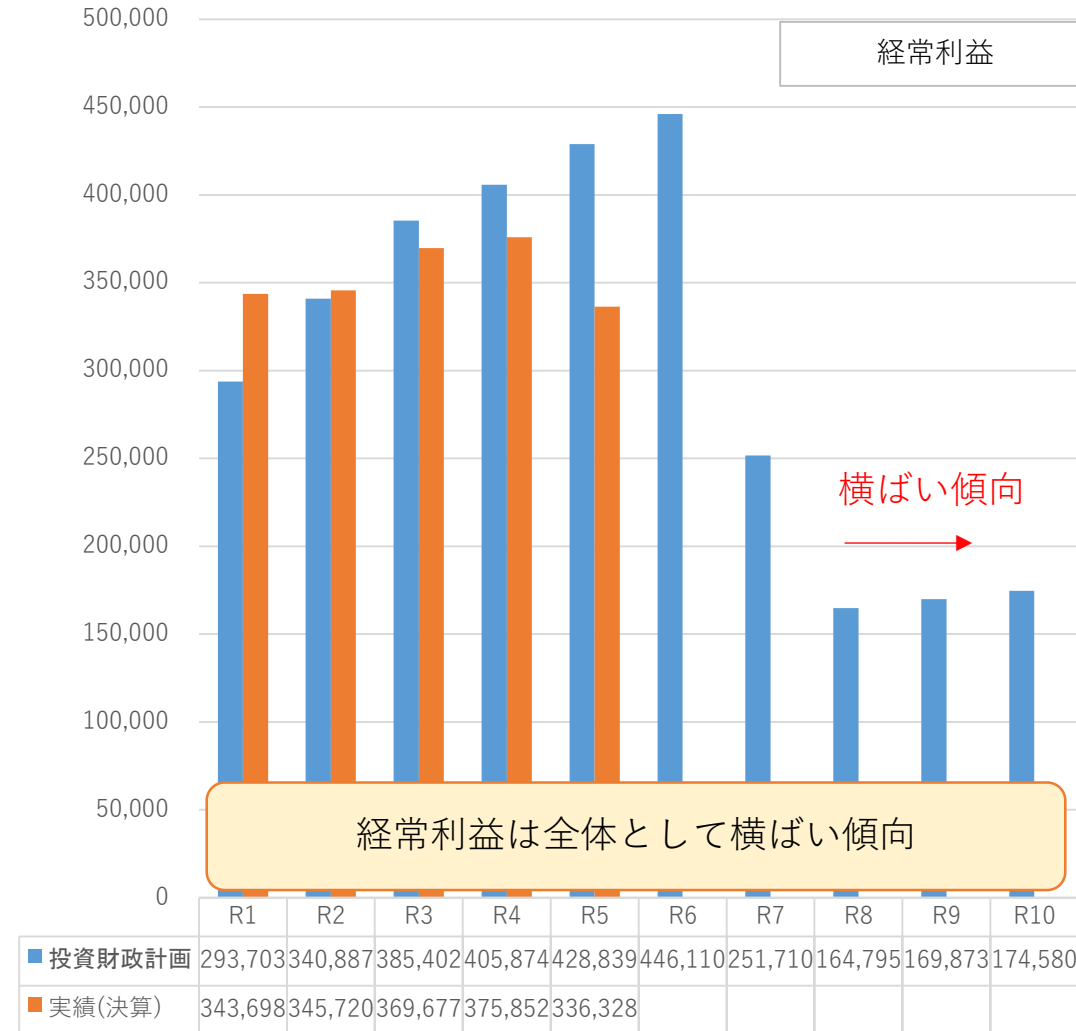


■ 投資財政計画	944,363	892,804	845,772	822,514	797,270	777,734	756,065	738,289	731,955	725,835
■ 実績(決算)	891,775	872,948	860,139	844,268	890,314					

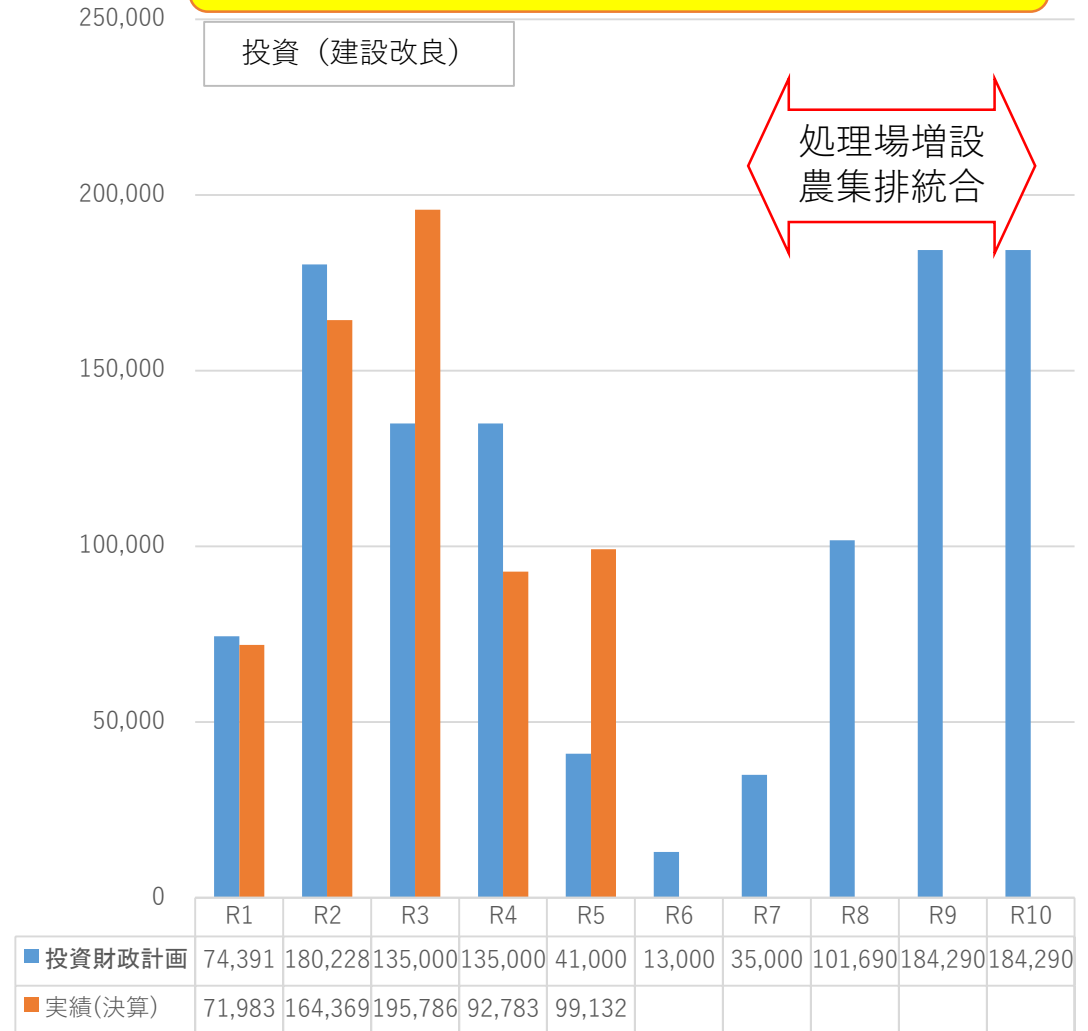
③投資財政計画と決算(2) ～下水道～

(単位：千円)

(単位：千円)

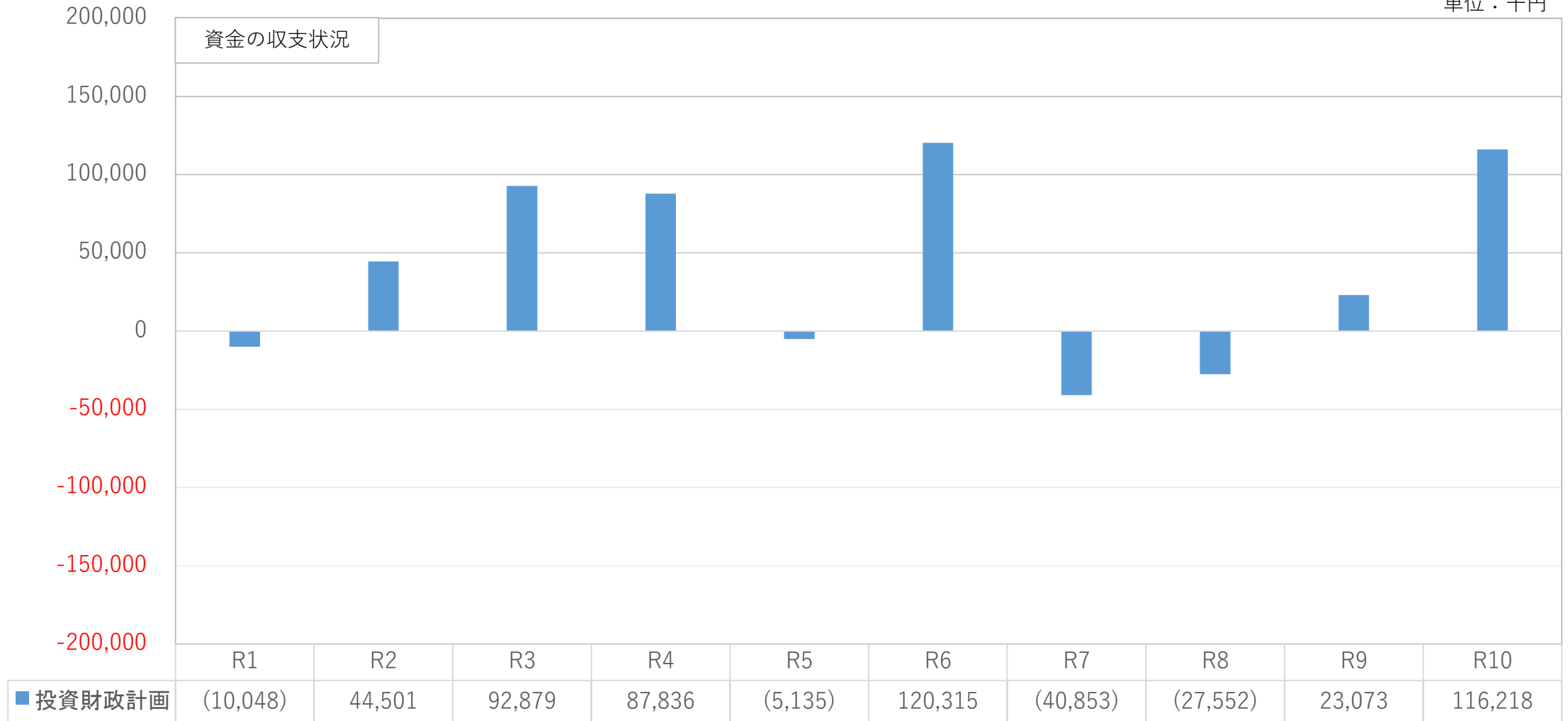


課題：適切な更新需要の把握



③投資財政計画と決算(3) ～下水道～

単位：千円



2.料金・使用料の見直しの経過

①これまでの改定の状況

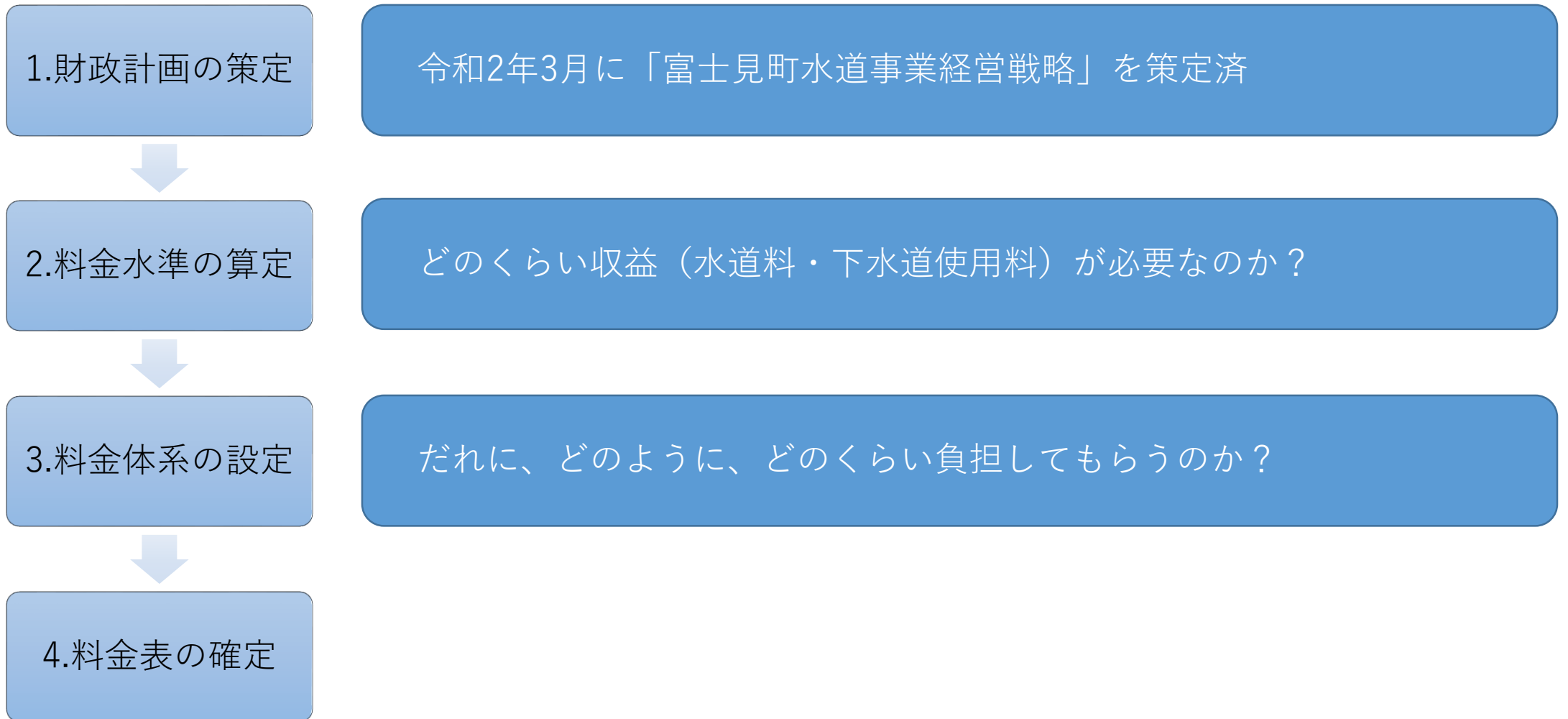
	水道料金	下水道使用料	備考
平成8年4月	平均改定率25%増		
平成9年4月	消費税改定2%増	消費税改定2%増	消費税3%→5%
平成10年4月		平均改定率18%増	
平成17年4月		平均改定率19%増	
平成21年4月		平均改定率13%増	
平成26年4月	消費税改定3%増 平均改定率3%減	消費税改定3%増 平均改定率7%増	消費税5%→8%
令和元年10月	消費税改定2%増	消費税改定2%増	消費税8%→10%

10年近く経過

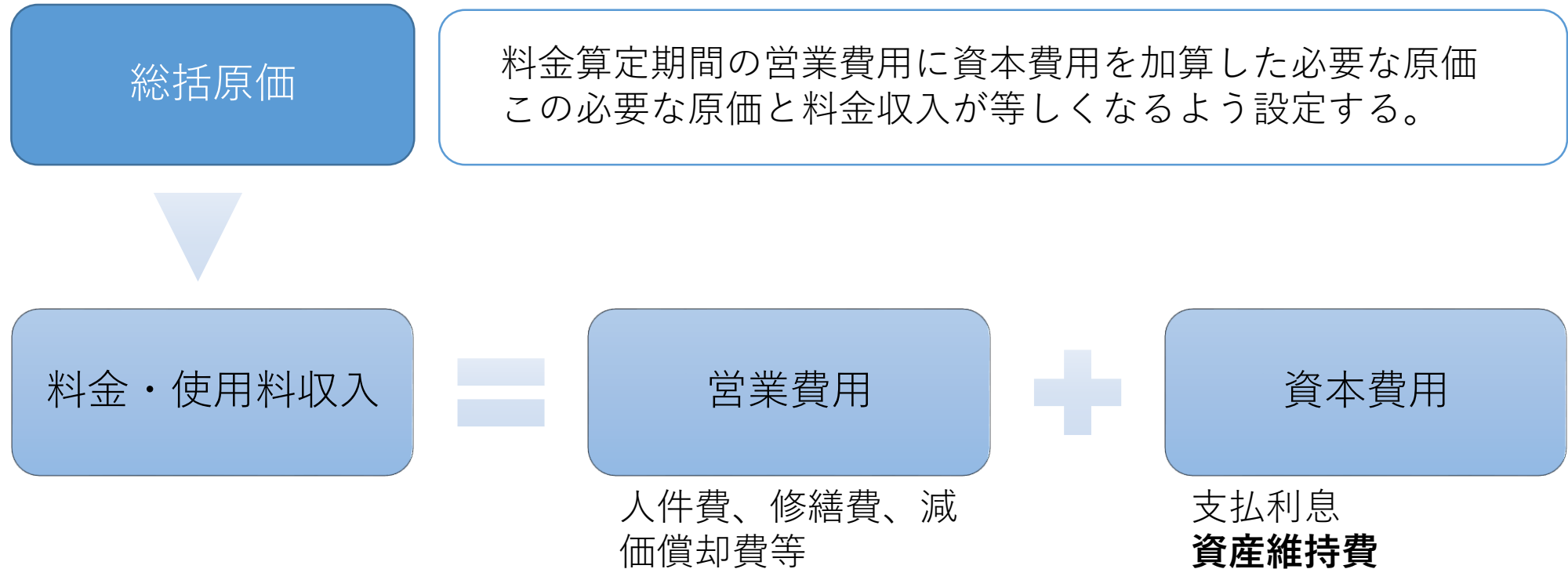
水道料金・下水道使用料とも平成26年度以降
本体の料金・使用料改定なし

3.改定へ向けた手順と方法について

①料金・使用料算定の手順



②料金・使用料水準の算定の方法



料金の算定期間は標準的な5年間とし、資産維持費（改修・更新などに必要となる費用）を含む総括原価方式により料金水準を決定します。

③料金体系の設定について 【現在の料金表（1か月・税込）】

地区	用途	基本料金	超過料金		
一般	家事用 営業用①	0~10m ³ ⊕1,320円 ⊖1,980円	11~20m ³	⊕154.0円	⊖209.0円
			21m ³ ~	⊕176.0円	⊖214.5円
			31m ³ ~		⊖225.5円
			51m ³ ~		⊖231.0円
			101m ³ ~		⊖242.0円
保健休養地	一般用 営業用①	0~10m ³ ⊕1,925円	11m ³ ~	⊕209.0円	

給水地区により
料金を設定する
地区別料金体系

目的により料金
を設定する用途
別料金体系

10m³まで定額と
なる基本水量制

使用水量区分ごとに料金単価が高くなる
逦増（ていぞう）制料金

4.富士見町の料金・使用料体系について

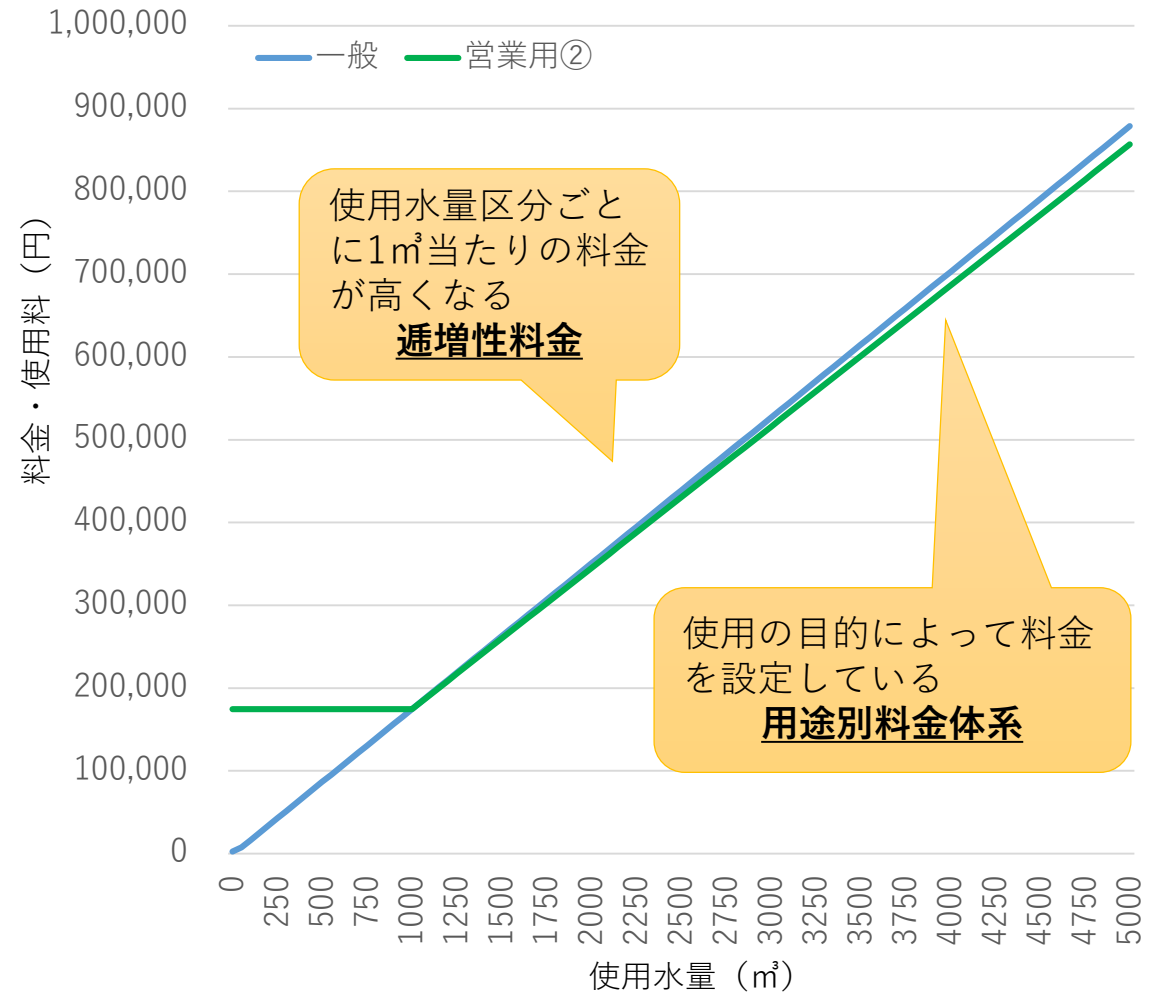
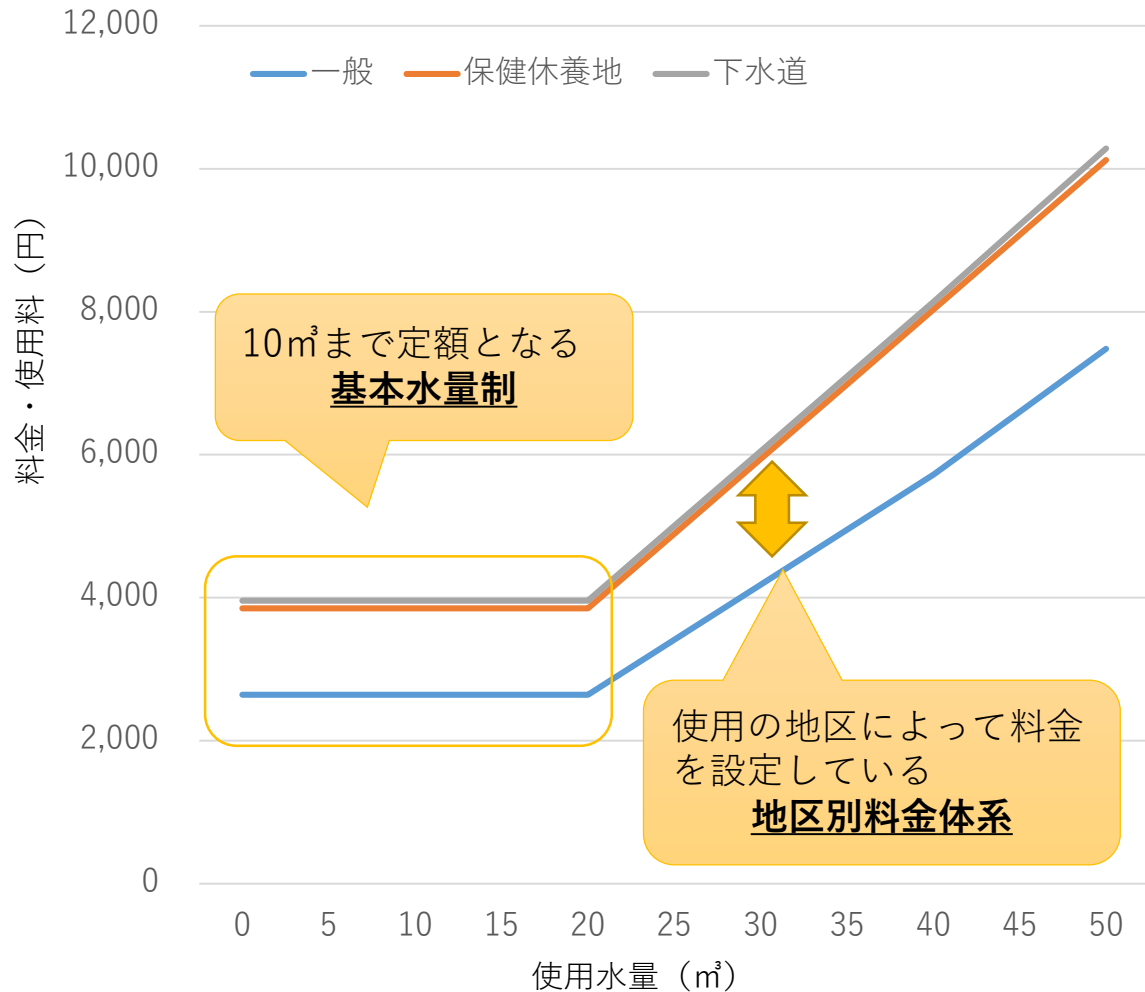
①料金体系（用途別・口径別）について

料金体系		メリット	デメリット
地区別料金体系	給水エリア等によって料金を設定する料金体系		
用途別料金体系	家事用、営業用、工場用などのように用途によって料金を設定する料金体系	家事用以外の用途に負担を求めることにより、生活水の低廉化を図ることができる	メーターに係る経費や一度に使用できる水量に応じた費用負担を求められない。
口径別料金体系	水道メーター器の口径（給水管の太さ）の大きさによって料金を設定する料金体系	メーターに係る経費や一度に使用できる水量に応じた費用負担を求めることができる	用途にかかわらず、口径によって料金が決まるため、生活水への配慮がしにくい。

富士見町では、地区別、用途別料金体系を採用

全国で料金体系を大きく分けると、用途別が全体の29.6%、口径別が全体の60.3%である。最近の料金体系の推移をみると用途別料金体系を採用している事業体はH31：30.9%→R4：29.6%と減少し、逆に口径別料金体系はH31：58.2%→R4：60.3%と増加傾向にある。口径が大きいと1度に多くの水を使うことができることから、口径が大きいほど水道施設の費用を多く負担すべきであると考えられている。

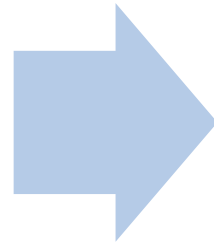
②使用水量と料金



5.まとめ

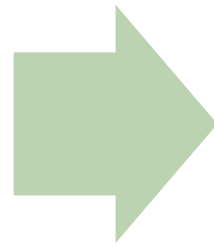
①水道料金と下水道使用料の見直し(1)

令和7年度以降
資金不足



水道料金の
見直しを検討

令和7年度以降
一時的な資金不足



水道料金の見直しに併せ
下水道使用料の
使用料体系を検討

①水道料金と下水道使用料の見直し(2)

現状に見合った公平な料金体系

基本水量制

10m³までの使用に対し、水量に応じた費用負担の検討
→基本水量制の検討

用途別料金体系

メーター器の口径に応じた口径別料金体系の検討

逦増性

使用量の多い一部の使用者が極端な負担増とならないよう逦増制の検討

休止制度

多くの自治体で導入されている休止制度の検討

お問い合わせ

本審議会資料に関する、ご意見・ご質問は下記へお問い合わせください。

富士見町上下水道課庶務経理係
電話：0266-62-9352
FAX：0266-62-7509
Mail：jyougesui@town.fujimi.lg.jp